

様式 13

### 会派視察研修計画書

令和 6 年 1 月 9 日

碧南市議会議長 様

会派名 志政会

代表者名 沓名 宏

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	沓名 宏、生田綱夫、磯貝忠通	
日時	令和6年1月19日（金）～令和6年1月20日（土）	
視察先	株式会社 J E R A（東京都中央区）、豊洲市場（東京都江東区）	
研修内容	（株） J E R A 「エネルギーを取り巻く状況と J E R A の取組みについて」 豊洲市場「市場開場後の賑わいについて」	
日程	1 日目 碧南中央駅～名古屋駅～東京駅（宿泊） 2 日目 東京駅～新橋（JR）、新橋駅前～豊洲市場（都営バス） 豊洲市場～新橋駅前、新橋～東京駅～名古屋駅～碧南中央駅	
交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関利用 乗降車駅名（碧南中央、名古屋、東京、新橋、豊洲市場）	<input type="checkbox"/> 自家用車利用 _____ 台 所有者名（ _____ ）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

# 会派視察研修報告書

令和6年3月13日

碧南市議会議長 様

会派名 志政会

代表者名

沓名 宏

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 3人分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	沓名宏、生田綱夫、磯貝忠通
日時	令和6年1月19日（金）～1月20日（土）
視察先	東京都中央区JERA本社、東京都江東区中央卸売市場豊洲市場
研修内容	座学と見学 ・エネルギーを取り巻く状況とJERAの取組みについて ・市場開場後の賑わいについて
視察先面会者 又は講師名等	常務執行役員大藪浩志氏、企画統括部上席推進役三宮功氏、企画統括部脱炭素推進室室長高橋賢司氏、電源立地部立地・環境計画ユニット課長沼田知也氏、中央卸売市場豊洲市場管理課課長代理望月建志氏
備考	

※ 相手方から収受した資料の写しを添付してください。

## 視察研修成果報告書

令和6年3月8日

議員氏名 菅名 宏

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期 間 令和6年1月19日（金）～令和6年1月20日（土）
- 2 視察先 東京都 JERA本社・豊洲市場
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

一日目は、JERA 本社に伺った。碧南火力発電所において、2050年までにCO2の排出をゼロにする計画である。もうすでにアンモニア混焼が始まり順調に進んでいるとのことでした。碧南火力発電所がアンモニア・水素の拠点になることを願います。次に、経済産業省で石井拓政務官と面談をし、政府の代表として海外の要人と折衝するなど、多忙な日々を送っていることがうかがえ、日本の発展に先頭に立ち尽力をお願い致します。

次の日は、築地市場から移転した豊洲市場に伺った。首都圏の基幹市場として、魅力・ブランド力を高めていくことを目指していくことがプロセスである。東京都運営で、58名の職員で構成され15,000人の方々従事されている。青果棟、水産仲卸売り場棟、水産卸売場棟、管理施設棟3階から5階の建物で、一見するとオフィスのものであった。355,000㎡の広大な敷地で首都圏の台所であることがうかがえた。

最後に、二日間お世話になった関係各位に感謝申し上げ、視察報告といたします。

# 視察研修報告書

令和6年2月6日

議員氏名 星田 潤夫

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

## 記

- 1 期間 令和6年1月19日（水）～令和6年1月20日（木）
- 2 視察先 株式会社JERA 東京本社 豊洲市場協会 東京都
- 3 視察の種類 会派視察研修 志政会
- 4 視察の成果等

### 研修所感

#### 1日目 JERA東京本社

GX・エネルギーを取り巻く状況及びゼロエミッション2050、ゼロエミッション火力発電導入に向けた取り組みについて

世界情勢に合わせて、CO2ゼロエミッションに挑戦すべく、2050年までに火力発電より排出量を0と目標を立て新たにアンモニア発電の導入にて目指す。

そのためにも碧南火力発電所は世界に先駆けてアンモニア発電の実証事業に取り組む施設として注目されている。

その為にも事故があってはならないので、安全対策には十分な対策を構築しアンモニア火力発電所をめざしている。

アンモニア混焼20%の実験中であるが、2028年には50%実証を行い、最終的に専焼化へとめざす。

それまでには、長い年月を際すが水素・アンモニアの輸入量も重要な課題となるので今後のPIの対策も同様に考えていかなければならないと感じた。

#### 2日目 豊洲市場の賑わいについて

築地市場から移転して5年が経過し、状況の確認の意味も込めて視察した結果、築地時代とは違い密閉された環境で魚の取引がされており、鮮度がかなり良くなった状況で売買がされていた。当然冷暖房システムやLED照明の導入、緑化にも力が入れられて、多くの観光客が来場され、地域連携が活気と賑わいを招いている。

## 視察研修成果報告書

令和 6 年 3 月 13 日

議員氏名 磯貝 忠通

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

1 期 間 令和 6 年 1 月 19 日（金）～令和 6 年 1 月 20 日（土）

2 視察先 ①東京都中央区 株式会社 J E R A 本社

②東京都江東区 中央卸売市場豊洲市場

3 視察の種類 ①株式会社 J E R A 本社

「エネルギーを取り巻く状況と J E R A の取組みについて」

②中央卸売市場豊洲市場

「市場開場後の賑わいについて」

4 視察の成果等

1 月 19 日（金）には、東京駅八重洲口より徒歩数分にある株式会社 J E R A 本社に伺い、「エネルギーを取り巻く状況と J E R A の取組み」についてお話をお聞きしました。

ご対応頂きました常務執行役員の大藪氏は、かつて中部電力株式会社に在籍され、碧南市のこともよく承知していらっしゃいました。特に、大浜にある魚屋さん（現在は廃業）に頻繁にお買い物にいらっしゃっていたことは印象的でした。

はじめに、GX、エネルギーを取り巻く状況について説明をいただきました。わが国のGX実現に向けて、分野別投資戦略によりGX経済移行債を活用した「投資促進策」と、市場創造に向けた規制・制度の見直しを具体化し高い予見性の下、官民共同でGX投資を实行したいと訴えられました。また、成長志向型カーボンプライシングや、GX経済移行債により更に普及・拡大させるトランジション・ファイナンスも組み合わせ、アジアへのGX展開や中小企業等のGXや、スタートアップの成長を加速し、良質な雇用を創出し公正な移行も進めていきたい、との言及もありました。

次に、JERAゼロエミッション2050—ゼロエミッション火力発電導入に向けた取り組みについて説明をいただきました。日本やアジアにおいて、石炭火力からのCO<sub>2</sub>排出削減は気候変動の最重要課題と位置づけ、2030年までに非効率な石炭火力を退出させると同時に、燃料の50%以上をアンモニアへ転換できる発電所を開発し、将来的にはアンモニア専焼により石炭火力からのCO<sub>2</sub>をゼロにすることを目標としています。その意味でも、現在碧南火力発電所でのアンモニア混焼の実証実験は注目している、とのお話がありました。そこで、碧南火力発電所向けにグリーンアンモニアの安定調達を目指し、燃料アンモニアの調達先を検討するため、碧南火力発電所4号機向けに年間最大50万トン、2027年から2040年代までの長期供給を条件に、2022年1月より国際競争入札を実施し、将来的な課題にしっかりと対応策を考えられていると感じました。

2日目の1月20日（土）には、平成30年10月開場の東京都中央卸売市場豊洲市場を訪れました。豊洲市場は東京都の土地建物を関係業者に賃貸し、東京都の職員さん全58名で運営されているそうであります。豊洲市場に向かう途中、かつての卸売市場の築地市場の前を通りましたが、ここの一角は買い物客でごった返しており、豊洲市場の閑散さは逆に異様な雰囲気を感じました。当日は東京都豊洲市場管理課の職員望月課長代理に案内していただきました。施設の敷地は市場全体で約35万5千㎡と広大で、水産仲卸売場棟6街区、水産卸売場棟7街区、青果棟5街区で構成されています。関係業者として、水産物では卸売業者7社（せり人数530人）、仲卸売業者468業者、売買参加者292業者となっています。われわれは施設管理棟で望月さんと待ち合わせて、場内を歩き回り

ながら説明を受けました。

はじめに、水産卸売棟を見学しました。早朝の5時30分よりマグロのせりが見られるようですが、われわれが訪れたときには既に終了していました。次に、水産仲卸売場棟に移動しました。こちらは仲卸業者のブースが細かく仕切られており、ターレーと呼ばれる荷役用の運搬車が忙しく動き回っていたことが印象的でした。また、水産仲卸売場棟の屋上は緑化広場となっており、臨海部や東京タワーなどが一望できます。ここまでかなりの移動距離となり、残念ながら青果棟までの見学はできませんでしたが、見学者や関係業者の人数に比べ、食事処が管理棟3階に10数店あるだけで、特に見学者にとってはお金を落とす場所がないと感じました。しかし、近々水産仲卸売場棟のとなりに「千客万来」という名の飲食ブースが新設されるそうであります。

築地市場から豊洲市場に移行することに対して様々な意見がありましたが、豊洲市場の4つのポイントである①食の安全、②省エネへの取組み、③効率的な物流、④地域との連携による活気と賑わいに資するには、さらなるアイデアが必要ではないかと感じました。